

平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	毒ガス障害者対策費			担当部局庁	健康局		作成責任者			
事業開始年度	昭和49年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	総務課指導調査室		総務課指導調査室 小野 清喜			
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-5-4 原子爆弾被爆者等を援護すること					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—			関係する計画、 通知等	「毒ガス障害者に対する救済措置要綱」					
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	旧陸軍造兵廠忠海製造所、旧陸軍造兵廠曾根製造所又は旧相模海軍工廠に従業員として従事していた者、旧陸軍広島兵器補給廠忠海分廠に従業員として従事していた者等であって、毒ガスの影響により今なお健康上特別の状態にある者が行う健康管理手当等の申請について、支給の認定に係る事項を審査することを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	昭和59年4月10日衛発第266号厚生省公衆衛生局長通知「毒ガス障害者に対する救済措置要綱」に基づき、健康管理手帳及び医療手帳の交付並びに特別手当、医療手当、健康管理手当及び保健手当の支給の認定に係る事項を審査するため、「毒ガス障害者認定検討会」を設置し、これを運営する。									
実施方法	委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
		補正予算	—	—	—	—				
		前年度から繰越し	—	—	—	—				
		翌年度へ繰越し	—	—	—	—				
		予備費等	—	—	—	—				
		計	2	2	2	1	1			
	執行額		1	1	1					
	執行率(%)		50%	50%	50%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 毎 年度
	毒ガスの影響により健康上特別の状態にある者に、健康管理手当の支給審査を行うことを目的とする。		健康管理手当受給者数		成果実績	人	1,404	1,334	集計中	
					目標値	人	1,468	1,404	1,340	精査中
					達成度	%	96%	95%		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	毒ガス障害者認定検討会開催回数		活動実績	回	3	3	3			
			当初見込み	回	6	3	3	3		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	単位当たりコスト = X / Y X:「執行額(万円)」 Y:「検討会開催回数(回)」		単位当たり コスト	万円/回	17	33	33	33		
			計算式	X / Y	100/6	100/3	100/3	100/3		
平成27・28年度 予算内訳 (単位:百万円)	費 目		27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	諸謝金		0	0						
	職員旅費		0	0						
	委員等旅費		1	1						
	庁費		0	0						
計		1	1							

事業所管部局による点検・改善						
項 目			評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	毒ガス障害者施策に係る各種申請(手帳・手当等)に対する審査のため必要な経費であり、昭和59年4月10日衛発第266号厚生省公衆衛生局長通知に基づき、毒ガス障害者に対する援護施策を推進するものであり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	昭和59年4月10日衛発第266号厚生省公衆衛生局長通知に基づき、毒ガス障害者に対する各種手当の支給にかかる行政事務を円滑に実施し、毒ガス障害者に対する援護施策を推進するものであり、国が実施すべき事業である。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	毒ガス障害者施策に係る各種申請(手帳・手当等)に対する審査のため必要な経費であり、毒ガスの影響により今なお健康上特別の状態にある者に対して援護施策を推進するという政策目的達成に向けて、優先度の高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	2年毎の委嘱により選出された委員に対して支給しており、選定は妥当である。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	実績により予算の見直しを行っており、水準は妥当である。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	経費の使途については、検討会の円滑な実施に真に必要なものに限定している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	認定検討会の委員欠席により、謝金等の執行額が当初の見込みを下回ったもの。		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-			
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果実績は成果目標に見合ったものとなっており、適切に実施されている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みどおりに執行できている。		
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	平成26年度は認定検討会の委員の欠席等により、謝金等の執行額が当初の見込みを下回ったため、執行率は下がっている。				
	改善の方向性	平成27年度は執行状況を勘案して、△1百万円減で予算要求を行っており、引き続き必要な予算の確保に努める。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	点検結果も妥当であり、毒ガス障害者対策の行政事務に必要な経費であることから、引き続き、必要な予算額を確保するとともに、適正な執行を行うこと。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	169	平成23年度	169	平成24年度	141	
平成25年度	166	平成26年度	178			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
1百万円

毒ガス障害者認定検討会の開催に伴う委員への支払及び検討会出席のための職員の旅費。



A. 事務費
1百万円

検討会委員旅費、職員旅費、諸謝金

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

A.事務費			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事務費	委員等旅費、諸謝金、職員旅費	1			
計		1	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.都道府県市

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	毒ガス障害者認定検討会への出席	0.1	-	-
2	個人B	毒ガス障害者認定検討会への出席	0.1	-	-
3	個人C	毒ガス障害者認定検討会への出席	0.1	-	-
4	個人D	毒ガス障害者認定検討会への出席	0.1	-	-
5	個人E	毒ガス障害者認定検討会への出席	0.1	-	-
6	個人F	毒ガス障害者認定検討会への出席	0.1	-	-
7	個人G	毒ガス障害者認定検討会への出席	0.1	-	-
8	個人H	毒ガス障害者認定検討会への出席	0.1	-	-
9	個人I	毒ガス障害者認定検討会への出席	0.1	-	-
10	個人J	毒ガス障害者認定検討会への出席	0.1	-	-